

日本の金融教育の現状

1 日本の高校で お金の授業、何を学ぶの？

— 2022年度から「金融教育」が高校で必修化 —

一生使える「お金の知識」を身につけ、
自分の人生を自分で考える力を育てます。



お金を「守る」知識



家計管理・ライフプラン

収入と支出のバランス、
ライフイベントとお金の計画



保険

医療・生命・火災保険など、
リスクに備える仕組み



社会保障・年金

公的年金の仕組みや
将来の備えを学ぶ

お金を「増やす」知識



貯蓄と投資の基礎

預金・株式・投資信託・債券など
それぞれの特徴を理解



リスクとリターン

リスクの意味、リターンの考え方
分散・長期・積立の効果



資産形成の制度

NISA・iDeCoの仕組みや
活用のポイント

お金を「使う」知識



ローン・金利の仕組み

住宅ローンや教育ローン、
金利の計算や返済の考え方



クレジットカード

リボ払いや分割払いの違い、
キャッシュレスの注意点



消費者トラブルと対応

契約や詐欺の事例、
トラブルを防ぐ方法



金融リテラシーは、投資判断の土台です。知識は最大の武器になります！

年間の平均授業時間は3－6時間

2

実際に、どのくらい授業でやっているの？

金融教育は必修ですが、授業に充てられる時間は学校によって差があります。

日本の実態（高校の金融教育の年間授業時間）



出典：日本証券業協会「高校の金融経済教育に関するアンケート調査」（2022年）より作成

日本とアメリカの金融教育の違い（イメージ）

項目	日本	アメリカ
必修化	2022年度～ 高校で必修	州によって異なる
授業時間	年間3～6時間程度 （家庭科などの一部）	州によっては 1学期（数十時間）
学ぶ内容	家計管理・保険・年金 投資の基礎・制度理解など	実践的な運用・取り崩し 税金・保険など実践的
目的	将来の生活設計と 資産形成の基礎づくり	自立した生活と 資産活用の実践力

日本は「制度と基礎」を学ぶ段階。

アメリカは「実践的な運用・取り崩し」まで学ぶ違いがあります。

3

金融リテラシー・クイズ

あなたは何問、分かりますか？

Q1

100万円を年利2%で複利運用すると、35年後はいくらになるでしょうか？

- ① 約140万円
- ② 約160万円
- ③ 約200万円
- ④ 約250万円



Q2

最もリスク分散につながる投資の方法はどれでしょう？

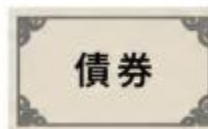
- ① 1社の株式だけを買う
- ② 同じ業界の株式だけを買う
- ③ 複数の資産に分散して投資する
- ④ 知っている会社にまとめて投資する



Q3

金利が上昇すると、一般的に価格が下落しやすいのはどれでしょう？

- ① 預金（普通預金）
- ② 債券
- ③ 現金
- ④ 株式



Q4

インフレ（物価の上昇）が続いた場合、現金だけを持っていると起こりやすいことはどれでしょう？

- ① 購買力が上がる
- ② 購買力が下がる
- ③ 利息だけが増える
- ④ 税金が安くなる



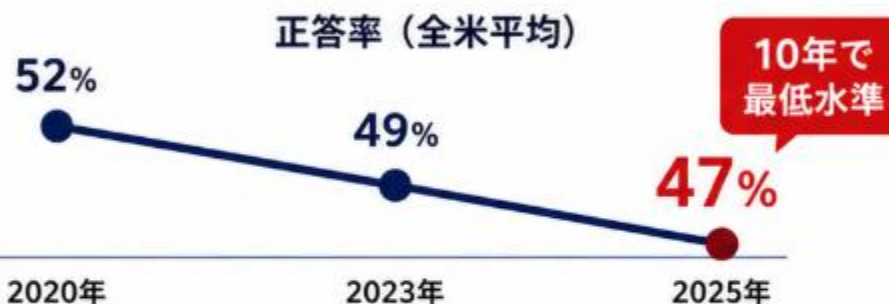
知識は、投資の判断力を高め、将来の選択肢を広げてくれます。
学び続けることが、最大のリターンです！

【Appendix】アメリカの金融リテラシーって実は高くない？

アメリカの金融リテラシー、10年で最低水準に

投資ブームの一方で、正しい知識はむしろ低下

金融リテラシーの推移 (P-Fin Index)



特に弱いのは「リスク理解」

インフレ・分散投資・リスクとリターンの理解が低い



若年層 (Gen Z) が最も低い

正答率：約38% (全世代で最低)

なぜ知識は低下しているのか？



SNS・動画など
情報は増加



正しい知識が
身につにくい



投資人口は増加
(ETF・個人投資家)



日本への示唆

投資する人を増やすこと(量)と、
正しい知識を身につけること(質)の
両輪が必要



情報があふれる時代だからこそ、**金融リテラシーの向上**がますます重要に



【Appendix】日米金融リテラシーの違いは年金制度の違いも影響



アメリカの退職リテラシーを測る6つの質問

～あなたは正しく答えられますか？～

退職リテラシー調査 (P-Fin Index 2025)

6問中の平均正答: 2.2問 (正答率37%)

5～6問正解できた人は7%だけ

1 Social Securityについて誤っている説明はどれ？



- A 給付額は生涯の平均所得で決まる
- B 受給開始年齢を遅らせると給付額は増える
- C 課税対象となる場合がある
- D 受給額は退職前2年間の所得で決まる

正解: D

(受給額は退職前2年間の所得で決まる、は誤り)

2 Medicareなど政府の医療制度は、退職後の医療費のどれくらいをカバーすると思いますか？



- A ほとんどすべて
- B 約4分の3
- C 約2分の1
- D 約4分の1

正解: C (約2分の1)

正答率
26%

3 会社が401(k)であなたの拠出額にマッチ(上乘せ)してくれる場合、一般的にIRAよりも有利なのはどちら？



- A IRAのほうが有利
- B どちらも同じ
- C 401(k)のほうが有利
- D わからない

正解: C (401(k)のほうが有利)

4 長生きして資金が尽きてしまうリスクに備えるために、最も適した対策はどれ？



- A 普通預金を増やす
- B 投資信託のリスクを上げる
- C 年金商品(アニュイティ)を買う
- D 不動産を購入する

正解: C (年金商品(アニュイティ)を買う)

正答率
53%

5 65歳の人々が、将来、介護や長期のサポートサービスを必要とする確率はおよそどのくらいでしょうか？



- A 約70%
- B 約50%
- C 約30%
- D 約10%

正解: A (約70%)

正答率
23%

6 米国における65歳の人の平均余命はおよそどのくらいですか？



男性	約19年
女性	約22年

正解: 男性 約19年、女性 約22年



調査のポイント



全体の金融リテラシー(28問)の正答率は49%と低下傾向
(2020年: 52% → 2025年: 49%)



特に「リスク理解」が弱い
正答率は36%で、5分野の中で最低



若年層(Gen Z)の成績が特に低い
正答率は約38%(全世代で最低)

投資ブームの一方で、正しい知識はまだ十分に身につけていないのが現状です。